



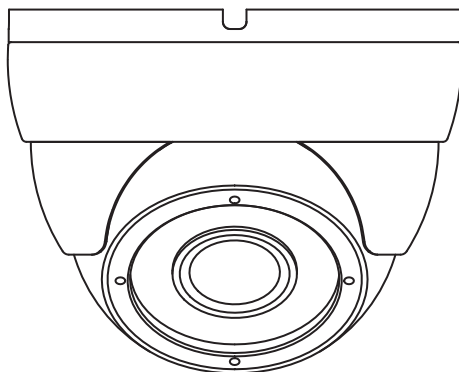
高解像度AHDドームカメラ

HIGH DEFINITION AHD DOME CAMERA

取扱説明書

ASM09

保証書付



付属品

ACアダプター (コード約1.5m).....	1個
アンカー	4本
ねじ	4本
防犯カメラ設置シール	1部

本機は、防犯を保証する機器ではありません。

ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに

特長	3
安全上のご注意	4
ご使用になる前に	7
使用上のご注意	7
個人情報について	8
本機の修理や譲渡、廃棄をするときのご注意	8
各部の名称	9

設置する

必要な物を準備する	10
映像確認をする	11
カメラを設置する	12

詳細設定

設定する	14	調整	20
メインメニュー	14	NR	20
レンズ	15	SHARPNESS	21
露出	15	COLOR GAIN	21
シャッター	15	レンズ沈み補正	21
AGC	15	ミラー	21
明るさ	16	DPC	22
D-WDR	16	言語	25
BACKLIGHT(逆光補正)	16	OUTPUT MODE	25
ホワイトバランス	18	終了	26
DAY&NIGHT	18		
EXT	18		
オート	19		
カラー	19		
白/黒	19		

必要なとき

故障とお考えになる前に	27
規格表	27
保証書	28

●500万画素高解像度AHDカメラ

本機対応のレコーダーを使用することで、最大500万画素(解像度2560×1944)の画質で録画できます。

●夜間撮影対応

カメラに赤外線投光器を内蔵していますから夜間撮影も可能です。
(赤外線撮影により、白黒映像となり、明暗に差が出る場合があります)

●画像の上下左右反転機能

表示画像を上下左右で反転できますから、様々な向きに設置できます。

●レコーダー側からのカメラ設定

CoC(同軸ケーブル制御機能)に対応していますから、CoC機能対応レコーダーから、本機の設定ができます。
遠隔で設定できますから、本機から離れたところでも、設定が可能です。

●防じん・防水(IP66)カメラ

屋内はもちろん、屋外にも対応できます。
(完全防水ではありませんから、軒下など直接雨がかからない場所をお勧めします)

- 付属のACアダプターは、本機専用です。本機以外に使用しないでください。
また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。
- 付属のACアダプターの使用方法は、取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告



- 本機や付属品などを包装しているポリ袋、および細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

警告



- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
- 本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源(AC100V)を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
- ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつながないでください。電気設備技術基準で禁止されています。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。



- 万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音をするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機を壁面や天井に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井[石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けしないでください。落下により、けがの原因となります。

⚠ 警告

- 配線工事は安全・確実に行なってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。
- ケーブルの接続時は、防水ケース、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
- 本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

- 本機を移動させる場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 本機は高温になる箇所があります。本機に触れるときは、必ずACアダプターをACコンセントから抜き、本機が冷めていることを確認してから、触れてください。火傷の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。
- 換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や表示が正しく作動しない可能性があります。

使用上のご注意

- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。
撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機は軒下など、できるだけ雨、風や直射日光が直接あたらないところに設置してください。
- 高温・高湿・密閉状態となる場所で使用しないでください。故障の原因となります。
- ACアダプターを第2種環境（商業、軽工業、および工業用環境）の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 周囲温度0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- センサーやカメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- 本体の清掃には化学薬品や洗剤を使用せず、硬く絞った雑巾などを使用してください。
- 高電圧を発生している装置（エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど）の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を長時間映さないでください。撮像素子が破損する原因になります。
- 塩害地域や腐食性ガスの発生する環境ではご使用できません。
- 本書に記載している以外の方法で使用しないでください。故障や発火・発煙の原因になることがあります。
- 電源コードを延長する場合は、専用のものを使用してください。専用のコード以外を使用した場合、電源電圧が低下して、正常に作動しなくなります。
- その他の、最新のご注意については、設置前に弊社技術相談までお問合せください。

個人情報について

本機を使用したシステムで録画された、個人を特定できる映像は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

法律に従い、録画データを適正に取扱ってください。

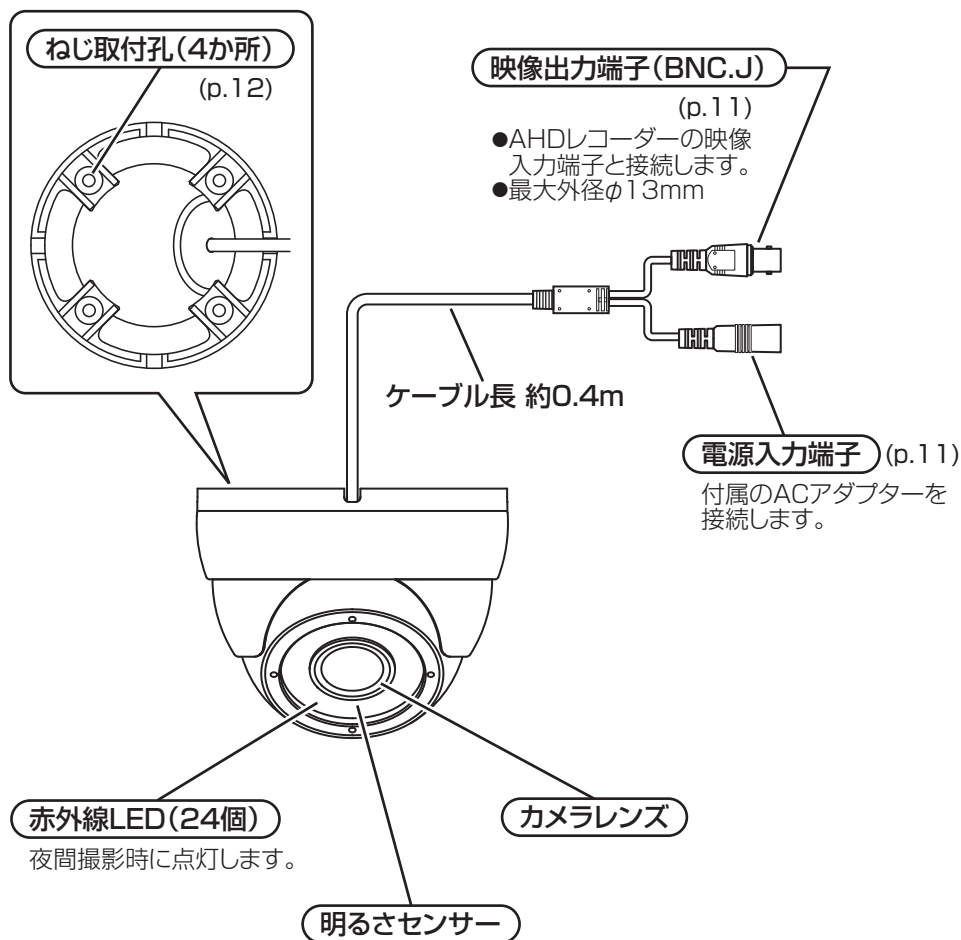
- 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。
- 個人情報の漏えいにより、損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機の修理や譲渡、廃棄をするときのご注意

本機を使用したシステムで使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。

本機の修理や譲渡、廃棄などで本機、または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取扱いに注意し、お客様の責任において修理、譲渡、破棄を行なってください。修理や譲渡、破棄を行う場合は、下記の点などにご注意ください。

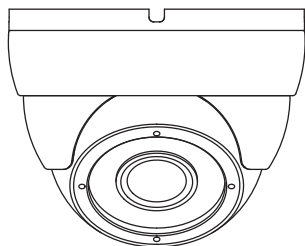
- 本機の設定を初期化する。(p.26)
- システムで使用する他の機器について、設定した情報を消去する。
消去の方法は、各機器の取扱説明書をご覧ください。



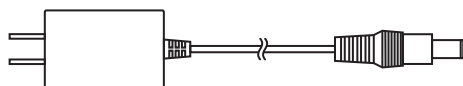
必要な物を準備する

設置する

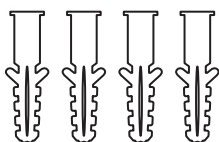
はじめに以下のものを準備します。



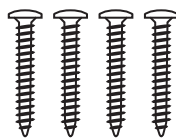
カメラ(本機)



ACアダプター
(コード約1.5m) (付属品)

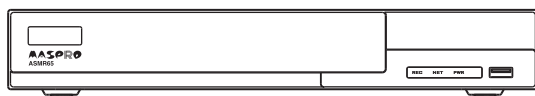


アンカー
(4本) (付属品)

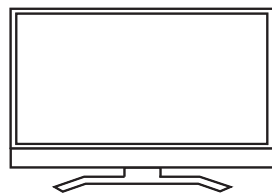


ねじ
(4本) (付属品)

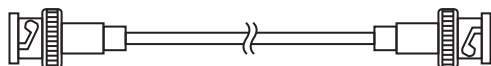
お客様で用意していただくもの



AHDレコーダー

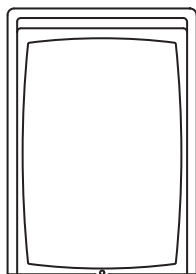


モニター



BNC型コネクター付同軸ケーブル

使用方法によって、お客様で用意していただくもの



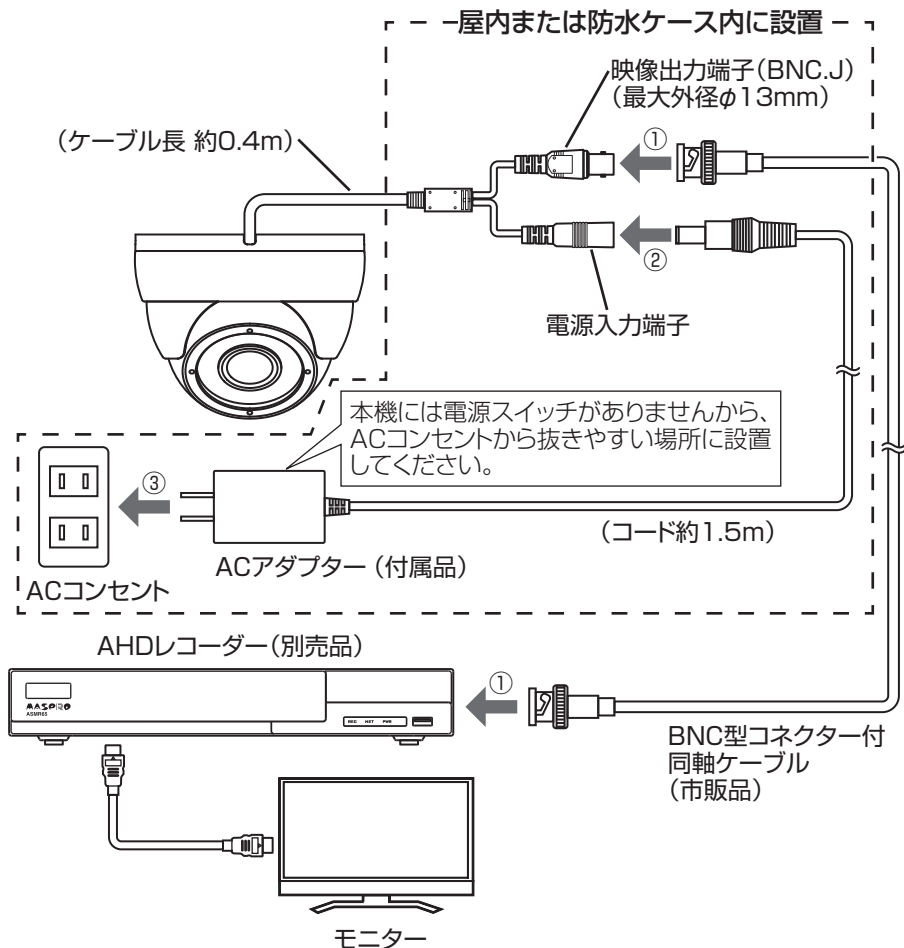
防水ケース



BNC/F型変換コネクター
(F型コネクター付同軸ケーブルで
配線する場合)

本機を使用する場合は、必ず対応したAHDレコーダーとの接続が必要です。

- ①本機の映像出力端子とAHDレコーダーの映像入力端子を接続します。
- ②本機の電源入力端子と付属のACアダプターを接続します。
●屋内に設置、または市販の防水ケース(ACアダプターより大きく、十分に余裕のあるもの)を使用して設置してください。
- ③ACアダプターをACコンセントに差込みます。
- ④AHDレコーダーに接続したモニターに、本機の映像が映っていることを確認します。



- 伝送距離はS5CFBの同軸ケーブルで最大500mです。(実効伝送距離は、200～300m程度です)
- 伝送距離は使用するAHDレコーダー、同軸ケーブルによって短くなる場合があります。

設置上のご注意

- 落下事故や製品故障、その他工事にかかわる問題について、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機の電源入力端子、およびACアダプターは防水構造ではありません。**屋内に設置、または市販の防水ケース(ACアダプターより大きく、十分に余裕のあるもの)を使用して設置してください。ビニール袋に入れたり、防水テープや自己融着テープなどを巻付けたりしないでください。ACアダプターの温度が上昇して、故障や発煙・発火の原因となることがあります。
- 本機を使用しなくなった場合は、必ず撤去してください。そのまま放置すると、落下によるけがの原因となることがあります。

1.カメラの設置場所を決める

以下の点に留意し、本機の設置場所を決めてください。

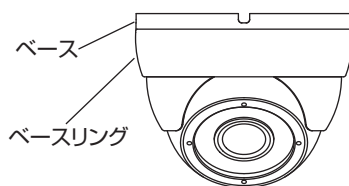
- 本機を仮設置した後に、撮影範囲および作動を確認し、配線と設置を行なってください。
- 本機をセンサーライトの近く(目安距離5m)に設置しないでください。夜間にセンサーライトの光が照らされると、本機に搭載している照度センサーが反応し、暗視撮影ができなくなります。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。

ご注意

赤外線照射距離は最長で25mですが、暗所で良好に撮影が可能な範囲は約半分になります。

2.カメラを天井または壁面に取付ける

- ①ベースリングを左に回し、ベースをカメラ本体から取外します。

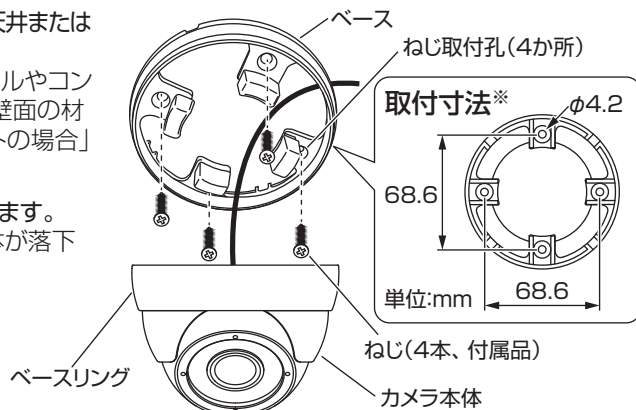


- ②付属のねじ(4本)で、ベースを天井または壁面にしっかりと取付けます。

- 天井や壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合は、「天井や壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合」(p.13)をご覧ください。

- ③ベースにカメラ本体を取付けます。

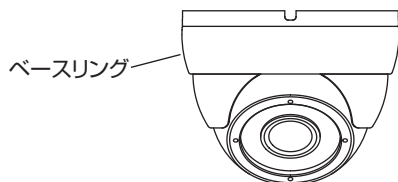
- ベースリングは、カメラ本体が落下しない程度に仮締めします。



カメラを設置する つづき

設置する

- ④モニターで映像を確認しながら、カメラの向きを調整します。
- ⑤方向の調整が終わったら、ベースリングを右に回して、しっかりと締付けて固定します。



ご注意

赤外線LEDが、カメラの筐体にかぶらないようにしてください。

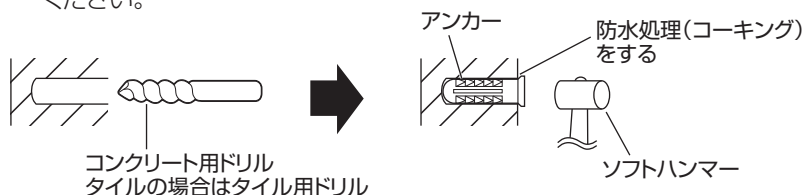
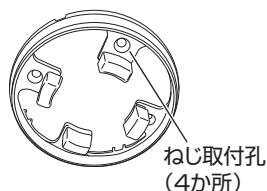


警告

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い天井や壁[石膏ボード、コンクリートブロック、ALC(軽量気泡コンクリート)、ベニヤ板など]には取付けしないでください。また、本機を取付けても十分に支えられる天井または壁面にしっかりと取付けてください。落下によりけがの原因となります。
- 天井内や壁面内の配線や配管を傷つけないように取付けてください。ねじなどで、配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。

天井や壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合

- ①ベースを設置したい場所に合わせ、ねじ取付孔から印を付けます。
- ②印に合わせて下図のようにドリル(φ6.0mm)で穴を開け、アンカーを差込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
 - アンカーは天井または壁面に挿入したら、コーキングしてください。



- ③p.12のように、付属のねじ(4本)で天井または壁面に取付けます。

ご注意

- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼することをお勧めします。天井や壁への穴開け工事について、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴開けにより、古い天井や壁が落ちることがありますから、注意して穴開けをしてください。

以上で設置は完了です。

- 動体検知、録画の設定などは、AHDレコーダー側の機能になります。AHDレコーダーで設定を行なってください。

カメラの設定は、CoC(同軸ケーブル制御機能)に対応しているAHDレコーダーから操作を行なってください。

●本機のみでは設定できません。

メインメニュー

AHDレコーダーでカメラの設定を開くと、「メインメニュー」が表示されます。

●別売のAHDレコーダー **ASMR65**を使用する場合は、取扱説明書の「PTZカメラを制御する」の「OSD」を参照してください。



1. レンズ(p.15)	本機のレンズはマニュアルレンズです。 本機能は設定しません。
2. 露出(p.15)	明るさや逆光補正を調整します。
3. ホワイトバランス(p.18)	白い被写体を撮影したときに、白く再現するように調整します。
4. DAY&NIGHT(p.18)	撮影環境が低照度状態(夜間など)になった場合のカラー撮影と白黒撮影の設定をします。
5. 調整(p.20)	映像に関する設定をします。
6. 終了(p.26)	設定を終了します。

レンズ

本機のレンズはマニュアルレンズのため、「マニュアル」を選択します。

- 出荷時は「マニュアル」に設定されています。
- 「DC」は本機では使用しません。

露出

明るさや逆光補正を調整します。

「メインメニュー」(p.14)で「露出」をクリックすると、「露出」メニューが表示されます。



シャッター

被写体に合わせてシャッタースピードを調整します。本機では「オート」を選択します。

- 出荷時は「オート」に設定されています。
- 「FLK」は本機では使用しません。

AGC

薄暗い条件でも画像が明瞭になるように最適化します。

「0」～「15」より選択します。

数値が大きいほど画像は明るくなりますが、画面のざらつきが大きくなります。

- 出荷時は「15」に設定されています。

明るさ

画面の明るさを「0」～「100」より選択します。
数値が大きいほど画面は明るくなります。

●出荷時は「50」に設定されています。

D-WDR

明暗の差が大きい場所でも、明るい部分と暗い部分の両方を鮮明に撮影することができます。

「OFF」、「オート」から選択します。

●出荷時は「OFF」に設定されています。

BACKLIGHT(逆光補正)

逆光下で撮影するとき、補正を行い、暗く写ってしまう被写体を適切に撮影することができます。

●出荷時は「OFF」に設定されています。

「BACKLIGHT」の「BLC」を選択してクリックすると、「BLC」メニューが表示されます。



レベル	補正するレベルを、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。 ●出荷時は「LOW」に設定されています。
エリア	補正する位置と範囲を設定します。(p.17)
初期設定	BACKLIGHTの設定を初期値に戻します。
戻る	「戻る」を選択すると、「露出」メニュー (p.15)に戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

《BACKLIGHTを有効にする場合》

①「レベル」(p.16)で補正するレベルを、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。

②「エリア」(p.16)をクリックします。

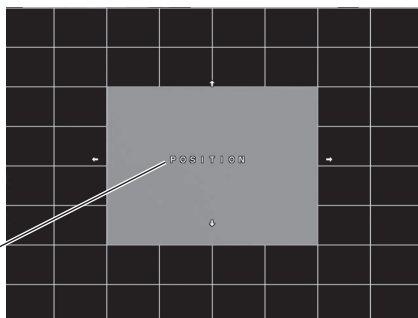
●「POSITION」を表示します。

③補正する位置が灰色の四角で表示されます。
カーソルで補正する位置を変更します。

位置の設定が終わったら、「POSITION」をクリックします。

●「SIZE」を表示します。

POSITION

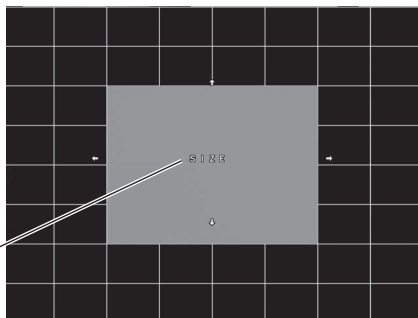


④カーソルで補正する範囲を変更します。

設定が終わったら、「SIZE」をクリックします。

●「RET」、「AGAIN」を表示します。

SIZE

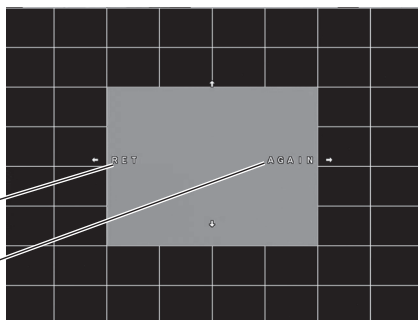


⑤「RET」をクリックすると、設定を完了します。

設定をやり直す場合は、「AGAIN」をクリックします。

RET

AGAIN



戻る

保存&終了

設定した内容を保存して、設定を終了します。

戻る

「メインメニュー」(p.14)に戻ります。

ホワイトバランス

白い被写体を撮影したときに、白く再現するよう調整します。

●出荷時は「ATW」に設定されています。

ATW	ホワイトバランスを自動で調整します。
AWC→SET	特定の被写体に合わせてホワイトバランスを調整します。 撮影中に選択操作をすると、自動的に調整されます。 被写体が変わった場合は、再度、ホワイトバランスを調整してください。

DAY&NIGHT

撮影環境が低照度状態(夜間など)になった場合のカラー撮影と白黒撮影の設定をします。

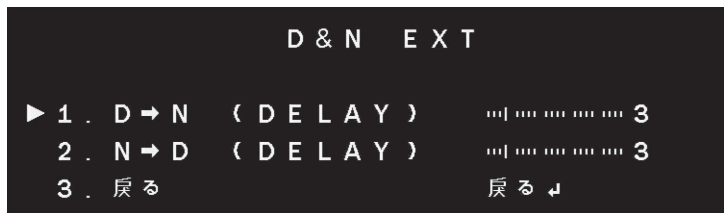
●出荷時は「EXT」に設定されています。

EXT

赤外線照射に連動して、カラー撮影と白黒撮影を自動で切替えます。

●本機は赤外線照射機能を搭載していますから、基本的には「EXT」を選択して使用することをお勧めします。

「DAY&NIGHT」の「EXT」を選択してクリックすると、「D&N EXT」メニューが表示されます。



D→N(DELAY)	カラー撮影から白黒撮影に切替わるタイミングを「0」～「15」より選択します。 数値が小さいほど早く切替わります。 ●出荷時は「3」に設定されています。
N→D(DELAY)	白黒撮影からカラー撮影に切替わるタイミングを「0」～「15」より選択します。 数値が小さいほど早く切替わります。 ●出荷時は「3」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「メインメニュー」(p.14)に戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

●カラー撮影と白黒撮影が点滅する場合は、「D→N(DELAY)」、「N→D(DELAY)」の設定値を調整してください。

オート

撮影環境の照度によって、カラー撮影と白黒撮影を自動で切換えます。

「DAY&NIGHT」の「オート」を選択してクリックすると、「D&N AUTO」メニューが表示されます。



D→N(AGC)	カラー撮影から白黒撮影に切換わる時のゲイン値(赤外線照射の強さ)を「11」～「255」より選択します。 ●出荷時は「64」に設定されています。
D→N(DELAY)	カラー撮影から白黒撮影に切換わるタイミングを「0」～「15」より選択します。 数値が小さいほど早く切換わります。 ●出荷時は「3」に設定されています。
N→D(AGC)	白黒撮影からカラー撮影に切換わる時のゲイン値(赤外線照射の強さ)を「1」～「245」より選択します。 ●出荷時は「10」に設定されています。
N→D(DELAY)	白黒撮影からカラー撮影に切換わるタイミングを「0」～「15」より選択します。 数値が小さいほど早く切換わります。 ●出荷時は「5」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「メインメニュー」(p.14)に戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

●カラー撮影と白黒撮影が点滅する場合は、「D→N(DELAY)」、「N→D(DELAY)」の設定値を調整してください。

カラー

明るさに関係なく、カラー撮影を行います。

白/黒

明るさに関係なく、白黒撮影を行います。

●「IR SMART」は本機では使用しないため、「OFF」を選択します。

調整

映像に関する設定をします。

「メインメニュー」(p.14)で「調整」をクリックすると、「調整」メニューが表示されます。



NR

映像に現れるノイズをデジタル処理により減衰します。

「NR」をクリックすると、「NR」メニューが表示されます。



2DNR	動きのある領域に対して有効です。 「OFF」、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。 ●出荷時は「MIDDLE」に設定されています。
3DNR	静止領域に対して有効です。 「OFF」、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。 ●出荷時は「LOW」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「調整」メニューに戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

SHARPNESS

映像のシャープネスを調整する度合いを設定します。

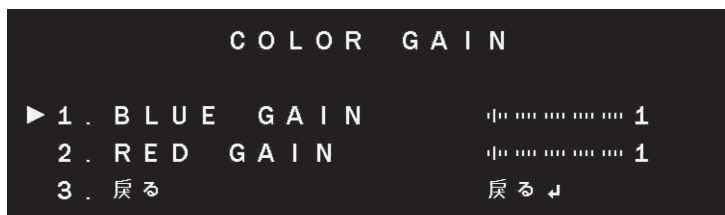
「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。

●出荷時は「MIDDLE」に設定されています。

COLOR GAIN

画面の色を調整します。

「COLOR GAIN」をクリックすると、「COLOR GAIN」メニューが表示されます。



BLUE GAIN	画面の青みを「0」～「10」より選択します。 数値が大きいほど画面の青みは強くなります。 ●出荷時は「1」に設定されています。
RED GAIN	画面の赤みを「0」～「10」より選択します。 数値が大きいほど画面の赤みは強くなります。 ●出荷時は「1」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「調整」メニュー (p.20)に戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

レンズ沈み補正

光学レンズで中央付近に比べ周辺部の映像が暗くなる現象を補正します。

●出荷時は「ON」に設定されています。

ミラー

映像の向きを設定します。

●出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF	ミラー機能をOFFにします。
ミラー	映像が左右反転します。
V-FLIP	映像が上下反転します。
回転	映像が上下左右反転します。

DPC

画面上のドット欠けをデジタル補正して修正します。
「DPC」をクリックすると、「DPC」メニューが表示されます。



ライブ欠陥画素補正

映像から赤いドット欠けなどをデジタル補正で修正します。
「ライブ欠陥画素補正」の「ON」をクリックすると、「LIVE DPC」メニューが表示されます。
●出荷時は「ON」に設定されています。



AGC LEVEL	AGCのレベルを「0」～「255」より選択します。 ●出荷時は「126」に設定されています。
LEVEL	補正のレベルを「0」～「100」より選択します。 ●出荷時は「100」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「DPC」メニューに戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

白キズ補正

画面上の白いドット欠けをデジタル補正して修正します。

「白キズ補正」の「ON」をクリックすると、「白キズ補正」メニューが表示されます。

●出荷時は「ON」に設定されています。



POS/SIZE	補正する位置と範囲を設定します。(p.24)
スタート	補正を開始します。
DPC VIEW	「ON」を選択すると、黒い画面が表示されて、白いドット欠けがあるか確認できます。 ●出荷時は「OFF」に設定されています。
レベル	補正のレベルを「0」～「60」より選択します。 ●出荷時は「22」に設定されています。
AGC	AGCのレベルを「0」～「14」より選択します。 ●出荷時は「12」に設定されています。
戻る	「戻る」を選択すると、「DPC」メニューに戻ります。 「保存&終了」を選択すると、設定した内容を保存して、設定を終了します。

《白キズ補正の設定方法》

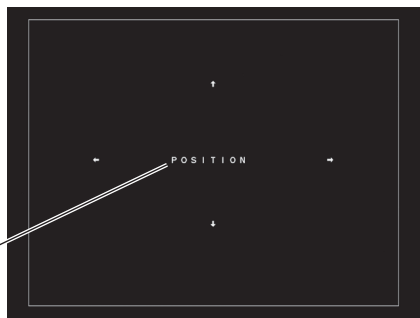
- ①「POS/SIZE」(p.23)をクリックします。
●「POSITION」を表示します。

- ②補正する位置が白い枠で表示されます。
カーソルで補正する位置を変更します。

位置の設定が終わったら、「POSITION」をクリックします。

- 「SIZE」を表示します。

POSITION

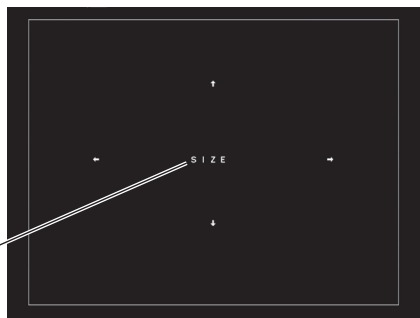


- ③カーソルで補正する範囲を変更します。

設定が終わったら、「SIZE」をクリックします。

- 「RET」、「AGAIN」を表示します。

SIZE

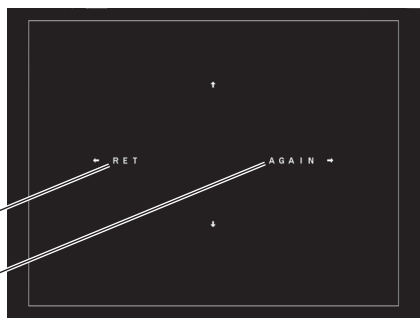


- ④「RET」をクリックすると、設定を完了します。

設定をやり直す場合は、「AGAIN」をクリックします。

RET

AGAIN



- ⑤「白キズ補正」メニュー (p.23)の「スタート」をクリックすると、白キズ補正が始まります。
「CLOSE THE IRIS THEN PRESS ENTER」と表示されるので、画面をクリックします。
白キズ補正が完了すると、「白キズ補正」メニューに戻ります。

言語

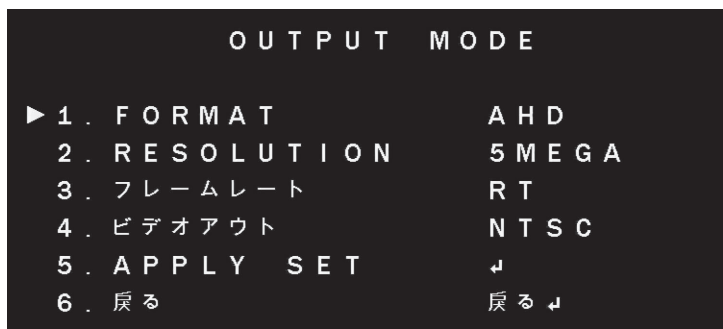
設定画面の言語を選択します。

- 出荷時は「JPN」に設定されています。

OUTPUT MODE

映像信号、フレームレートなどの設定をします。

「OUTPUT MODE」をクリックすると、「OUTPUT MODE」メニューが表示されます。



FORMAT	映像信号を「AHD」、「CVBS」から選択します。 ●出荷時は「AHD」に設定されています。 ●「AHD」と「CVBS」では画角が異なります。
RESOLUTION	解像度を表示します。本機の解像度は「5MEGA」です。
フレームレート	フレームレートを設定します。 ●出荷時は「RT」に設定されています。
ビデオアウト	映像形式を「NTSC」、「PAL」から選択します。 接続するAHDレコーダーの仕様に合わせて設定してください。 ●出荷時は「NTSC」に設定されています。
APPLY SET	設定した内容を保存して、再起動します。
戻る	「調整」メニュー (p.20)に戻ります。

- 「OUTPUT MODE」内で設定を行なった場合は、必ず「APPLY SET」を選択して設定の保存を行なってください。
「APPLY SET」を行わないと、設定した内容が保存されません。

戻る

保存&終了	設定した内容を保存して、設定を終了します。
戻る	「メインメニュー」(p.14)に戻ります。

終了

設定を終了します。

保存&終了	設定した内容を保存して、設定を終了します。
リセット	全ての設定を初期値(工場出荷状態)に戻します。
保存しない	設定した内容を保存せずに、設定を終了します。

- 「リセット」を選択した場合は、必ず「メインメニュー」(p.14)の「保存&終了」を選択して、設定の保存を行なってください。「保存&終了」を行わないと、カメラの電源が切れた時に設定内容が保存されません。
- 「OUTPUT MODE」(p.25)で設定した項目は、「リセット」を行なっても初期値には戻りません。
- 「調整」(p.20)の「言語」(p.25)で設定した内容は、「リセット」を行なっても初期値には戻りません。

故障とお考えになる前に

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が出ない	ACアダプターが抜けていませんか。	11
	同軸ケーブルが抜けていませんか。	11
赤外線が点灯しない	赤外線点灯のしきい値は適切ですか。	18、19

規格表

MASPRO

項目	規格
イメージセンサー	1/2.8CMOS
画素数	約500万画素(2560×1944)
撮影画角	水平：約85°、垂直：約63°
撮影照度	0.01Lux以上(赤外線撮影時)
赤外線照射距離	最大25m※
映像出力端子	BNC.J×1
ケーブル長	約0.4m
電源	DC12V 1A (ACアダプター使用)：AC100V
消費電力	4.5W(9.4VA)
使用温度範囲	⊖10℃～⊕50℃ (ACアダプターは0～⊕40℃)
防じん防水性能	IP66 (軒下など直接雨がかからない場所を推奨します) カメラ本体のみ
外観寸法	93(H)×93(W)×76(D)mm (ACアダプター：61(H)×39(W)×27(D)mm)
質量(重量)	約280g

※暗所で良好に撮影が可能な範囲は約半分になります。

- 本機を使用するときは、必ず本機対応レコーダーとの接続が必要です。
- 電源が50Hzの地域の蛍光灯付近で使用すると、フリッカー(映像のちらつき)が発生する場合があります。
- AHDカメラの特性として、イメージラグ(輪郭が2重に映る症状)が発生する場合があります。

高解像度AHDドームカメラ保証書

MODEL **ASM09**

持込修理

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。本書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品(以下「修理品」)、付属品、購入日を証明できる書類(領収書など)、および本保証書を、購入した店舗にお持込みください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および保証サービス申込書(弊社ウェブサイトからダウンロード)を、弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換(以下「無償修理など」)いたします。なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
 - ・必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
 - ・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、損害、ガス害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
 - ・ご使用上の誤りによる故障および損傷
 - ・不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - ・他の機器などにより誘発された故障および損傷
 - ・特殊な環境下(例えば車両・船舶への搭載など)で使用されたときの故障および損傷
 - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
 - ・消耗部品の交換
 - ・その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段(宅配など)でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 無償修理などを行なった場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- 製品に保存されているデータは、ご自身でバックアップの上、ご送付ください。無償修理などにより、保存データは原則として全て消去されます。保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。また、故障原因の確認や修理のために、保存データを調査させていただく場合があります。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実には発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについて弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- 交換の場合、交換された製品・部品の所有権は弊社に譲渡されます。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月が満了日のいずれかの長い方とします。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過後も回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただくことがあります。
- 譲渡品、中古品、転売品(オークション購入などを含む)については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＝マスプロ電気株式会社＝

本 社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

営業部 TEL名古屋(052)802-2244

受付時間 9～17時45分(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

＝マスプロ電気＝

製品向上のため 仕様・外観は
変更することがあります。

JUL., 2022